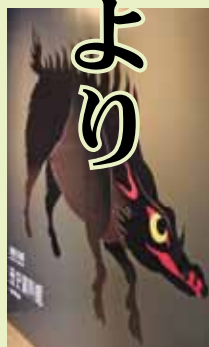


歴

史資料館だより



No.43
文化生涯学習課
真壁伝承館
文化財係(☎0296-23-8521)

「桜川市の たからもの」

半世紀を経て里帰り

桜川市内には全国的に有名な遺跡や重要な出土品などの「たからもの」が数多くあります。今回、その中の一つが50数年ぶりに市へ里帰りしました。

そのたからものとは、旧岩瀬地区の大泉字堀ノ内から出土した須恵器と呼ばれる古代の焼き物で、碗や皿、甕などがあります。これらは、堀ノ内地区の上野武臣氏の土地にある窯跡から出土したもので、奈良・平安時代（今からおおよそ1100〜1300年前）ごろに作られたものです。

この堀ノ内の窯跡は、昭和31年〜33年にかけて故高井三郎氏の指導の下、上野氏も参加した発掘調査が行われ、大きな成果を上げることができました。特に、出土した須恵器に「新大領」「新厨」という字が刻

まれたものがあつたことが注目されています。

「新大領」とは「新治郡（当時の岩瀬地方のこと）の大領」の略で、大領とは郡の長官のことです。厨とは当時の役所に勤めていた役人たちに食事を支給していた部署を表しています。この後、窯跡は県史跡に指定されました。

出土した須恵器などはその後、高井氏が館長となった兵庫県西宮市にある辰馬考古資料館で整理・保管されていましたが、このたび辰馬考古資料館をはじめとする関係者・関係機関のご好意により、上野氏の下へ移管され、さらに上野氏より一括で市へ寄贈をいただきました。



半世紀を経て里帰りした「須恵器」を手に取る上野氏

歴史講座の案内

（仮）堀ノ内古窯跡群出土の須恵器について

■日時／3月24日（土） 13時30分

■場所／真壁伝承館会議室1（桜川市真壁町真壁198）

■講師／阿久津 久氏（元・茨城県立歴史館学芸部長）

■参加費／無料

■問合せ・申込先／真壁伝承館文化財係（☎029612318521〈月曜、祝日休〉）

※当館は駐車場が狭いため、車で来館の際は出来るだけ乗り合わせでお越しください。



「新厨」と刻まれた須恵器

文化財防災訓練



防火訓練の様子（水幕ホース）

1月22日（日）、第58回文化財防火デーにともなう文化財防災訓練が、真壁町山尾の五所駒瀧神社本殿（1704年再建・市指定文化財）で実施されました。

同神社は長和3年（1014年）創建の千年近い歴史があるといわれる神社で、訓練は、この貴重な文化財を未来に伝えるため、神社、山尾地区、消防団・消防署などから多数参加して、本番さながらに行われ有意義なものとなりました。

文化財防火デー（1月26日）は、昭和24年1月26日の奈良・法隆寺金堂壁画の焼損をきっかけに国が定めたものです。

3月21日(水) 市長と話してみませんか？ ～市民の日～

市民の皆様の声を行政に反映するために、市長とお話してみませんか。話題はなんでも結構です。皆様のご来場をお待ちしています。

- 時間／13時～16時
- 場所／農村環境改善センター（加茂部 1491）
- 問合せ／秘書広報課（☎58-5111・75-3111 代表）